

考・努・感

尾張旭市立旭中学校

旭中学校ウェブサイトもご覧ください。

<http://www.owariasahi.jp/asahi-j/>

☆3年生を送る会を終えて☆

何度も練習してやっと完成したメッセージボード。はじめはどうなることかと思った合唱『YELL』。本番に近づくとつれ、学年全体が一つの方向に向かい始めたことで、当日はどちらも大成功に終わりました。ぜひこの経験を忘れずに、次なる舞台に活かしてほしいと思います。

3送会が終わって3年生が泣いているのを見て、準備できてよかったと思いました。しかし、それと共に1年経ったら、もう卒業することになり、自分たちが泣いている側なんだと思いました。

(A組 I. Aさん)

先生たちの出し物がとても面白かった。毎年あのような計画をしているのがすごいと思った。また、3年生の歌も素晴らしかった。迫力があり、それでいて心に響いているような合唱だった。来年は自分たちの番なので、あんな合唱ができればいいなと思った。

(A組 Y. Hさん)

練習の時よりはうまく『YELL』を歌えたと思いました。有志発表もいいものばかりだったし、最後の先生たちの発表もとても面白かったです。来年僕たちも卒業なので、その時はもっと迫力のある合唱をしたいです。

(C組 O. Yさん)

3年生を送る会で合唱を発表するために頑張って練習したので、パネルを出すことをうまくできたり、大きな声で歌うことができたりしたのでよかったと思います。有志発表や先生方の劇もとても楽しかったです。もうすぐ3年生が卒業してしまうのでとても悲しいけれど、最後の3年生とやる行事はとてもいい思い出になりました。

(C組 I. Hさん)

私は今回、団結力を感じた会だったなと思いました。1年生・2年生・3年生。先生方・裏方の皆さんのおかげでとてもいい会になったと思います。3年生の先輩方にはとてもお世話になり、卒業してしまうのはとても寂しく感じます。また3年生がいなくなってしまう後は、私たち2年生が旭中学校を引っ張っていかないといけないと強く感じました。

(B組 K. Aさん)

3年生を送る会なのに3年生が盛り上げてくれたり、楽しませてくれたりして、3年生がいなくなると旭中が旭中でなくなってしまうような寂しい気持ちになった。これからは私たちが3年生になって1・2年生の見本となって引っ張っていかないといけないと思うと、やっぱり3年生はすごい人たちだったんだと感じた。先輩たちがいなくなるのを実感して、初めて先輩の大きさが分かった会だった。

(B組 N. Tさん)



今回は議員として3年生を送る会に参加し、いつもとは違う体験ができてよかったと思います。議員は机と机を準備したり、中幕を閉めたりしていました。3年生の歌はとてすごく、僕らよりもはるかに上手でした。自分もいつかあんなふうに歌えるといいなと思います。

(D組 O. Tさん)

思ったことは、「やっぱり3年生は1・2年生とは違うな。」と思いました。私が提案した人文字が思ったよりも大変でもう少し簡単なものにすればよかったかなと思いました。歌は練習よりも声が大きかったし、一つ一つの字音をしっかり発音していて、メッセージが伝わった気がしました。3年生の合唱を聴いたら、今までの先輩との思い出があふれ出して、勝手に涙が出てきました。金曜日で3年生はいなくなってしまう。私があこがれている先輩のように、来年私も頼りになる人になりたいです。

(D組 Y. Mさん)

私は吹奏楽部として演奏をしました。今までお世話になった感謝の気持ちを込めて精一杯吹きました。すごく楽しかったし、パフォーマンスもたくさんの方々に褒めていただいたのでうれしかったです。他にも有志発表や執行部の出し物、1・2年生の合唱、3年生の先生方の出し物もすごく、3年生への愛を感じて感動しました。佐藤先生の言葉は関係のない私も泣きそうになるような想いの込められた内容でした。来年私たちもこのように温かい気持ちで次へのステップへ送り出されたいです。

(E組 D. Mさん)

私は今回、有志発表に出ました。今まで練習してきたことが出し切れて、3年生の先輩も笑ってくれる人がすごく多くて、楽しんでもらうことができ本当によかったと思います。2年生の歌も紙のめくり方もしっかりできて、頑張ってたよかったと思いました。3年生の合唱はとても感動して、もう卒業してしまうなんて考えられない感じでした。後2日しか先輩の姿を見ることができないと思うと、とても悲しくなっていました。今度は卒業式の時に、先輩を泣かせるぐらいの歌を届けたいです。

(F組 Y. Mさん)



僕は「3送会」などの大きな行事の手伝いなどをしたことがなかったのですが、今年の3送会は議員として音響係を担当しました。入場曲を流す時のタイミング・終わる時のタイミングなど、係全員で協力してうまくできました。有志バンドのドラム出し、マイクの音量調節、いすやスクリーンの上げ下げなど、裏方として働きました。普段見ている大きな行事が行うことができるのは、執行部をはじめとして見えない誰かが働いているということに気づきました。

(G組 T. Kさん)

今回私は生徒会執行部として、企画・準備・本番の司会や片付けなどに関わらせてもらいました。その中で、企画や準備はとても大変でした。時間が足りず、部活動にもなかなか行くことができませんでした。しかし、司会をするときにはみんなが楽しんでくれているのを見て、とても安心しました。終わった後は、とても疲れたけれど、とても大きな達成が残りました。今回、関わることですごくよかったです。これからもこの経験を生かしていきたいです。

(H組 H. Mさん)